

- For more records, click the Records link at page end.
- To change the format of selected records, select format and click Display Selected.
- To print/save clean copies of selected records from browser click Print/Save Selected.
- To have records sent as hardcopy or via email, click Send Results.

<input checked="" type="checkbox"/> Select All	<input type="checkbox"/> Clear Selections	<input type="button" value="Print/Save Selected"/>	<input type="button" value="Send Results"/>	Format
				Display Selected <input type="button" value="Free"/>

1. ☐ 4/5/1 DIALOG(R)File 352:Derwent WPI (c) 2003 Thomson Derwent. All rts. reserv.

010143685 **Image available**

WPI Acc No: 1995-044936/199507

XRAM Acc No: C95-020224

Compsns. for oxidative dyeing of keratinic fibres, esp.

human hair - contg. amino-phenol deriv., methyl-amino-phenol cpd. and m-phenylene-diamine cpd.

Patent Assignee: COTTERET J (COTT-I); L'OREAL SA (OREA)

Inventor: AUDOUSSET M; COTTERET J; LAGRANGE A; VANDENBOSCHE J J; AUDOUSSET M P; VANDENBOSCHE J; ANDOUSSET M

Number of Countries: 020 Number of Patents: 008

Patent Family:

Patent No	Kind	Date	Applicat No	Kind	Date	Week
EP 634162	A1	19950118	EP 94401610	A	19940712	199507 B
FR 2707487	A1	19950120	FR 938614	A	19930713	199509
CA 2127845	A	19950114	CA 2127845	A	19940712	199515
JP 7089831	A	19950404	JP 94161168	A	19940713	199522
US 5500021	A	19960319	US 94274560	A	19940713	199617
EP 634162	B1	19981104	EP 94401610	A	19940712	199848
DE 69414314	E	19981210	DE 614314	A	19940712	199904
			EP 94401610	A	19940712	
ES 2123109	T3	19990101	EP 94401610	A	19940712	199907

Priority Applications (No Type Date): FR 938614 A 19930713

Cited Patents: EP 252351; EP 459900; FR 2421870

Patent Details:

Patent No	Kind	Lan	Pg	Main IPC	Filing Notes
EP 634162	A1	F	11	A61K-007/13	

Designated States (Regional): AT BE CH DE DK ES FR GB GR IE IT LI LU MC NL PT SE

CA 2127845	A	F	A61K-007/13
------------	---	---	-------------

JP 7089831	A	10	A61K-007/13
------------	---	----	-------------

US 5500021	A	6	A61K-007/13
------------	---	---	-------------

EP 634162	B1	F	A61K-007/13
-----------	----	---	-------------

Designated States (Regional): AT BE CH DE DK ES FR GB GR IE IT LI LU MC NL PT SE

DE 69414314	E	A61K-007/13	Based on patent EP 634162
-------------	---	-------------	---------------------------

ES 2123109	T3	A61K-007/13	Based on patent EP 634162
------------	----	-------------	---------------------------

Abstract (Basic): EP 634162 A

Compsns. for dyeing keratinic fibres, esp. human hair, comprise:

(a) at least one oxidn. dye precursor selected from 3-methyl-4-aminophenol, 2-methyl-4-aminophenol, 2-hydroxy-4-aminophenol and their acid-addn. salts; (b) at least one coupler selected from 2-methyl-5-aminophenols of formula (I) and their acid-addn. salts; R = H, Me, Et, 2-hydroxyethyl or 3-hydroxypropyl; and (c) at least one coupler selected from m-phenylenediamines of formula (II) and their acid-addn. salts; R1 and R2 = H, 1-4C alkyl or 1-4C hydroxyalkyl; R3 = H, 1-4C alkyl or 1-4C alkoxy; R4 = H, 1-4C alkyl, 1-4C hydroxyalkoxy or 1-4C alkoxy; R5 = H, 1-4C alkyl, 1-4C alkoxy, 1-4C hydroxyalkyl, 1-4C hydroxyalkoxy, 2-4C polyhydroxyalkoxy, halogen, carboxy(1-4C)alkoxy, 2,4-diaminophenoxy(1-4C)alkoxy or 1-4C aminoalkoxy; with provisoes.

ADVANTAGE - The compsns. give 'warm' coppery shades with good fastness to light, washing, weather, perspiration and hair treatment.

Dwg. 0/0

Title Terms: COMPOSITION; OXIDATION; DYE; KERATINOUS; FIBRE; HUMAN; HAIR;

CONTAIN; AMINO; PHENOL; DERIVATIVE; METHYL; AMINO; PHENOL; COMPOUND;
PHENYLENE; DI; AMINE; COMPOUND
Derwent Class: D21; E24; P24
International Patent Class (Main): A61K-007/13
International Patent Class (Additional): A45D-019/00; C09B-053/02;
C09B-057/00; D06P-003/08; D06P-003/24
File Segment: CPI; EngPI

Derwent WPI (Dialog® File 352): (c) 2003 Thomson Derwent. All rights reserved.

<input checked="" type="checkbox"/> Select All	<input type="checkbox"/> Clear Selections	Print/Save Selected	Send Results	Display Selected	Format
				Free	<input type="button" value="v"/>

© 2003 The Dialog Corporation

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平7-89831

(43) 公開日 平成7年(1995)4月4日

(51) Int.Cl. ⁶	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
A 6 1 K 7/13				
A 4 5 D 19/00		Z		
C 0 9 B 53/02				
57/00		Z		
D 0 6 P 3/08				

審査請求 未請求 請求項の数18 O L (全 10 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号	特願平6-161168	(71) 出願人	391023932 ロレアル LOREAL フランス国パリ, リュ ロワイヤル 14
(22) 出願日	平成6年(1994)7月13日	(72) 発明者	ジャン コットウレ フランス国ヴェルヌイユ - スュル - セヌ, アレー デ ムニエル 15
(31) 優先権主張番号	9 3 0 8 6 1 4	(72) 発明者	マリ パスカル オドゥッセ フランス国ルヴァルワ - ベレ, リュ ボダン, 106
(32) 優先日	1993年7月13日	(74) 代理人	弁理士 浅村 皓 (外3名)
(33) 優先権主張国	フランス (F R)		

最終頁に続く

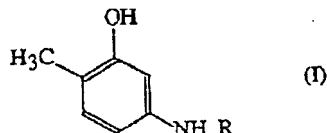
(54) 【発明の名称】 ケラチン繊維用染色組成物

(57) 【要約】

【目的】 ケラチン繊維特に毛髪のようなヒトのケラチン繊維のための染色組成物および酸化剤による発色を用いる染色方法を目的とする。

【構成】 本染色組成物は染色に適する媒体中に、3-メチルパラ-アミノフェノール、2-メチルパラ-アミノフェノールおよび2-ヒドロキシメチルパラ-アミノフェノールならびにこれらの酸との付加塩のうちから選択する少くとも一つの酸化染料前駆体；式 (I)

【化1】



(式中、Rは水素、メチルもしくはエチル基またはβ-ヒドロキシエチルもしくはγ-ヒドロキシプロピル基を表わす) の2-メチル5-アミノフェノールおよびこれの酸付加塩のうちから選択する少くとも一つのカップラー；追加のカップラーとしての少くとも一つのメタフェ

ニレンジアミンまたはこれの酸付加塩を含有する。

1

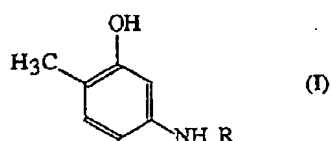
【特許請求の範囲】

【請求項1】 染色に適する媒体中に、

・ 3-メチルパラ-アミノフェノール、2-メチルパラ-アミノフェノールおよび2-ヒドロキシメチルパラ-アミノフェノールならびにそれらの酸付加塩のうちから選択する少くとも一つの酸化染料前駆体、

・ 式 (I)

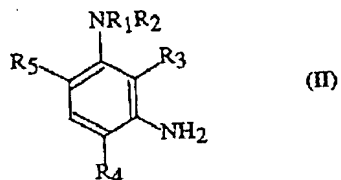
【化1】



(式中、Rは水素原子、メチルもしくはエチル基またはβ-ヒドロキシエチルもしくはγ-ヒドロキシプロピル基を表わす) の2-メチル5-アミノフェノールおよびこれの酸付加塩のうちから選択する少くとも一つのカップラー、および

・ 追加的なカップラーとしての式 (I I)

【化2】



(式中、R₁ およびR₂ は互いに独立に水素原子またはC₁ ~ C₄ アルキル基またはC₁ ~ C₄ ヒドロシアルキル基を表わし；R₃ は水素原子またはC₁ ~ C₄ のアルキルもしくはアルコキシ基を表わし；R₄ は水素原子またはC₁ ~ C₄ アルキル基またはC₁ ~ C₄ ヒドロシアルコキシ基またはC₁ ~ C₄ アルコキシ基を表わし；R₅ は水素原子またはC₁ ~ C₄ アルキル、C₁ ~ C₄ アルコキシ、C₁ ~ C₄ ヒドロシアルキル、C₁ ~ C₄ ヒドロシアルコキシ、C₂ ~ C₄ ポリヒドロシアルコキシ基、ハロゲン原子あるいはC₁ ~ C₄ カルボキシアルコキシ、C₁ ~ C₄ 2', 4'-ジアミノフェノキシアルコキシまたはC₁ ~ C₄ アミノアルコキシ基を表わすが；R₅ がカルボキシアルコキシまたは2', 4'-ジアミノフェノキシアルコキシ基を表わす場合、R₁、R₂、R₃ およびR₄ は水素原子を表わし、R₅ がC₁ ~ C₄ アルキル基を表わしかつR₁、R₂ およびR₃ が水素原子を表わす場合、R₄ はC₁ ~ C₄ アルコキシまたはC₁ ~ C₄ ヒドロシアルコキシ基を表わさず、そしてR₁、R₂ およびR₄ が水素原子を表わす場合、R₃ およびR₅ はメトキシ基を同時には表わさない) の少くとも一つのメタフェニレンジアミンまたはこれの酸付加塩を含有することを特徴とする、ケラチン繊維特に毛髪のようなヒトのケラチン繊維用染色組成物。

2

【請求項2】 パラ型の酸化染料前駆体は、3-メチルパラ-アミノフェノールまたは酸付加塩である、請求項1記載の染色組成物。

【請求項3】 カップラーを、2-メチル5-アミノフェノール、2-メチル5-N-(β-ヒドロキシエチル)アミノフェノールおよびこれらの酸付加塩のうちから選択する、請求項2記載の染色組成物。

【請求項4】 式 (I I) のメタフェニレンジアミンを、1-β-ヒドロキシエチルオキシ2, 4-ジアミノベンゼン、1-(1, 2-ジヒドロキシプロピルオキシ)2, 4-ジアミノベンゼン、1-[2', 4'-ジ-アミノフェノキシプロピルオキシ]2, 4-ジアミノベンゼン、1-メトキシ2-アミノ4-β-ヒドロキシエチルアミノベンゼン、2, 4-ジアミノフェノキシ酢酸および4, 6-ビス-(2-ヒドロキシエチルオキシ)1, 3-ジアミノベンゼン、ならびにこれらの酸付加塩のうちから選択する、請求項1から3のいずれか1項に記載の染色組成物。

【請求項5】 酸付加塩を、塩酸塩、硫酸塩、臭化水素酸塩および酒石酸塩のうちから選択する、請求項1から4のいずれか1項に記載の染色組成物。

【請求項6】 3-メチルパラ-アミノフェノール、2-メチルパラ-アミノフェノールおよび2-ヒドロキシメチルパラ-アミノフェノールまたはこれらの塩が、組成物の全重量に対して0.01~4重量%、望ましくは0.1~2重量%の全濃度で存在する、請求項1から5のいずれか1項に記載の染色組成物。

【請求項7】 式 (I) の2-メチル5-アミノフェノールまたはその塩が、組成物の全重量に対して0.01~5重量%、望ましくは0.2~3.5重量%の全濃度で存在する、請求項1から6のいずれか1項に記載の染色組成物。

【請求項8】 式 (I I) のメタフェニレンジアミンまたはその塩が、組成物の全重量に対して0.002~2重量%、望ましくは0.05~1重量%の全濃度で存在する、請求項1から7のいずれか1項に記載の染色組成物。

【請求項9】 酸化染料前駆体およびカップラーは、組成物の全重量に対して0.1~10重量%、望ましくは0.4~5重量%の全濃度で存在する、請求項1から8のいずれか1項に記載の染色組成物。

【請求項10】 pHは3~10.5である、請求項1から9のいずれか1項に記載の染色組成物。

【請求項11】 互いにメタの位置にあり、必要なら変性されている少くとも二つのヒドロキシおよび(または)アミノ置換基を有し、そして式 (I) の2-メチル5-アミノフェノールおよび式 (I I) のメタフェニレンジアミンとは異なるベンゼン化合物；α-ナフトール；インドール誘導体；β-ケトン化合物；ピラゾロン；ならびにこれらの塩のうちから選択する他のカップ

ラーを含有する、請求項1から10のいずれか1項に記載の染色組成物。

【請求項12】 アゾ染料、アントラキノン染料およびベンゼン系列のニトロ誘導体のうちから選択される直接染料をさらに含有する、請求項1から11のいずれか1項に記載の染色組成物。

【請求項13】 組成物の全重量に対する割合として算出するとして、0.5～55重量%の割合の陰イオン、陽イオン、非イオン、両性界面活性剤またはこれらの混合物、1～40重量%の割合の有機溶媒、0.1～5重量%の割合の増粘剤、0.05～1.5重量%の酸化防止剤；浸透剤、金属イオン封鎖剤、香料、緩衝剤、分散剤、コンディショナー、膜形成剤、保存剤および不透明化剤のうちから選択する少くとも一つの補助剤をさらに含有する、請求項1から12のいずれか1項に記載の染色組成物。

【請求項14】 少くとも2つの成分すなわち請求項1から13のいずれか1項に記載の染色組成物からなる成分(A)および染色に適する媒体中に酸化剤を含有する成分(B)を含有することを特徴とする、ケラチン繊維特に毛髪のようなヒトのケラチン繊維のための染色剤。

【請求項15】 酸化剤を、過酸化水素、過酸化尿素、アルカリ金属臭素酸塩、過硼素酸塩および過硫酸塩のうちから選択する、請求項14記載の染色剤。

【請求項16】 請求項1から13のいずれか1項に記載の染色組成物(A)をケラチン繊維特に毛髪のようなヒトの繊維に適用し、そしてこの組成物の使用の直前に添加される酸化剤、あるいは同時にまたは逐次的に別々に適用される組成物(B)中に存在する酸化剤を用いて酸性またはアルカリ性の環境下で発色することを特徴とする、ケラチン繊維の染色方法。

【請求項17】 請求項1から13のいずれか1項に記載の染色組成物を、発色するのに十分な量の酸化用溶液と使用時に混合し、次いで得られる混合物をケラチン繊維に適用し、5～40分間、望ましくは15～30分間放置し、次いでリンスし、シャンプー洗浄し、改めてリンスしそして乾燥する、請求項16記載の染色方法。

【請求項18】 第1の区画部に請求項1から13のいずれか1項に記載の組成物(A)が入っており、そして第2の区画部に染色に適する媒体中に酸化剤を含有する組成物(B)が入っている少くとも二つの区画部のあることを特徴とする、複数の区画部を有する用具または染色キット。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は少くとも一つのパラアミノフェノール、少くとも一つの2-置換5-アミノフェノールおよび少くとも一つのメタフェニレンジアミンを組合わせて含有する、ケラチン繊維特にヒトのケラチン繊維の染色組成物、およびこの組成物を用いそして酸

化剤によって発色する染色方法に関する。

【0002】

【従来の技術】 一般に「酸化ベース」とも称される酸化染料前駆体特にオルトまたはパラフェニレンジアミン、オルトまたはパラアミノフェノール、および変色剤とも称されるカップラー、一層特定的には芳香族メタフェニレンジアミン、メタアミノフェノールおよびメタジフェノールを含有し、酸化ベースの縮合生成物によって得られる「基礎的染色」を変色しそして反射色を豊かにすることのできる染色組成物によって、ケラチン繊維特にヒトの毛髪を染色することが知られている。

【0003】 酸化染毛の分野においては、光線、洗浄、悪天候、発汗および毛髪に対してなされる種々な処理に関して満足すべき抵抗力のある色を毛髪に与えそして広範囲の色合いをだすことのできる、酸化染料前駆体およびカップラーが研究されている。

【0004】

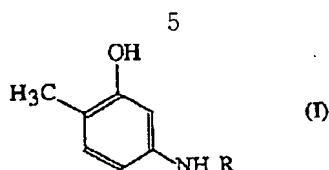
【発明が解決しようとする課題】 3-メチルパラアミノフェノール、およびこれをカップラーとしての2-メチル5-アミノフェノールと、パラフェニレンジアミンまたは2,5-ジアミノトルエンと組合わせてケラチン繊維用の染色組成物中に使用することは知られており、また米国特許第4,883,656号明細書中に記載されている。しかしながら、このような組合わせによると、ケラチン繊維への適用後に十分に抵抗力のある染色は得られない。

【0005】

【課題を解決するための手段】 本発明者は、下記の式(I)に規定する2-メチル5-アミノフェノールのうちから選択する、2位置で置換されたカップラーとしての少くとも一つの5-アミノフェノールおよび追加的なカップラーとしての少くとも一つのメタフェニレンジアミンと組合わせて、3-メチルパラアミノフェノール、2-メチルパラアミノフェノールおよび(または)2-ヒドロキシメチルパラアミノフェノールを酸化染料前駆体として使用することによって、ケラチン繊維特にヒトの毛髪への適用の後、暖いそして銅色の色合いを有し、また光線、洗浄、悪天候、発汗および毛髪に対してなされる種々な処理に関して良好な抵抗力を示す染色を、酸化剤の存在下で酸性またはアルカリ性媒体中で得ることが可能なことを発見しており、そしてこのことが本発明の目的をなす。発汗に対する抵抗力は特に著るしく、最新技術によるそれよりも優れている。

【0006】 従って本発明は、染色に適する媒体中に、
・3-メチルパラアミノフェノール、2-メチルパラアミノフェノールおよび2-ヒドロキシメチルパラアミノフェノールならびにこれらの酸付加塩のうちから選択する少くとも一つの酸化染料前駆体、
・式(I)

【化3】



(式中、Rは水素原子、メチルもしくはエチル基またはβ-ヒドロキシエチルもしくはγ-ヒドロキシプロピル基を表わす)の2-メチル5-アミノフェノールおよびこれの酸付加塩のうちから選択する少くとも一つのカップラー、および

・追加的なカップラーとしての後記の式(I I)のメタフェニレンジアミンまたはこれの酸付加塩を含有する、ケラチン繊維特に毛髪のようなヒトのケラチン繊維の染色組成物を目的とする。

【0007】本発明は、第1の成分が酸化染料前駆体と上記に規定したカップラーとを含有し、また第2の成分が酸化剤を含有する、複数の成分を有する染色剤もまた目的とする。

【0008】本発明の別な目的は、ケラチン繊維の染色に使用する上記に規定した種々な薬剤と酸化剤とをアルカリ性または酸性媒体中に含有する、直ちに使用できる組成物に関する。

【0009】本発明は、ケラチン繊維特に毛髪のようなヒトのケラチン繊維に、

・3-メチルパラ-アミノフェノール、2-メチルパラ-アミノフェノールおよび2-ヒドロキシメチルパラ-アミノフェノールおよびこれらの酸付加塩、

・前記の式(I)の2-メチル5-アミノフェノールおよびこれの酸付加塩のうちから選択する少くとも一つのカップラー、

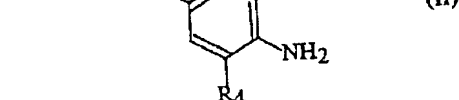
・追加的なカップラーとしての式(I I)の少くとも一つのメタフェニレンジアミンまたはこれの酸付加塩を適用し、酸性またはアルカリ性において酸化剤によって発色することからなるケラチン繊維の染色方法もまた企図する。

【0010】本発明による場合、前記したパラ型の前駆体のうち、3-メチルP-アミノフェノールが好ましい。前記したカップラーのうち、本発明に使用するに

は、2-メチル5-アミノフェノールおよび2-メチル5-N(β-ヒドロキシエチル)アミノフェノールが好

ましい。

【0011】本発明にて使用できるメタフェニレンジアミンは、式(I I)。



(式中、R₁ およびR₂ は互いに独立に水素原子またはC₁ ~C₄ アルキル基またはC₁ ~C₄ ヒドロキシア

ルキル基を表わし；R₃ は水素原子またはC₁ ~C₄ の

アルキルもしくはアルコキシ基を表わし；R₄ は水素原

子またはC₁ ~C₄ アルキル基またはC₁ ~C₄ ヒド

ロキシア

ルコキシ基またはC₁ ~C₄ アルコキシ基を表わ

し；R₅ は水素原子またはC₁ ~C₄ アルキル、C₁ ~

C₄ アルコキシ、C₁ ~C₄ ヒドロキシア

ルキル、C₁ ~C₄ ヒドロキシア

ルコキシ、C₂ ~C₄ ポリヒドロキ

シア

ルコキシ基、ハロゲン原子あるいはC₁ ~C₄ カ

ル

ボキシア

ルコキシ、C₁ ~C₄ 2', 4'-ジアミノフ

エ

ノキシア

ルコキシまたはC₁ ~C₄ アミノアルコキシ

基を表わすが；R₅ がカルボキシア

ルコキシまたは

2', 4'-ジアミノフェノキシア

ルコキシ基を表わす

場合、R₁、R₂、R₃ およびR₄ は水素原子を表わ

し、R₅ がC₁ ~C₄ アルキル基を表わしかつR₁、R

2 およびR₃ が水素原子を表わす場合、R₄ はC₁ ~C

4 アルコキシまたはC₁ ~C₄ ヒドロキシア

ルコキシ基

を表わさず、そしてR₁、R₂ およびR₄ が水素原子を

表わす場合、R₃ およびR₅ はメトキシ基を同時に表

わさない)に相当する。

【0012】この化合物は遊離の形または塩の形で使用

できる。本発明の場合、式(I I)のメタフェニレンジ

ア

ミンのうち、R₁ からR₄ の基が水素原子を表わしま

たR₅ がC₁ ~C₄ ヒドロキシア

ルコキシ基またはC₂

~C₄ ポリヒドロキシア

ルコキシ基を表わすものが好ま

しい。

【0013】C₁ ~C₄ ヒドロキシア

ルコキシ基のうち

β-ヒドロキシエチルオキシ基が特に好ましい。C₂ ~

C₄ ポリヒドロキシア

ルコキシ基のうち1, 2-ジヒド

ロキシプロピルオキシ基が特に好ましい。

【0014】好ましい式(I I)の化合物のうち、1-

β-ヒドロキシエチルオキシ2, 4-ジアミノベンゼ

ン、1-(1, 2-ジヒドロキシプロピルオキシ)2,

4-ジアミノベンゼン、1-[2', 4'-ジアミノフ

エ

ノキシプロピルオキシ]2, 4-ジアミノベンゼン、

1-メトキシ2-アミノ4-β-ヒドロキシエチルアミ

ノベンゼン、2, 4-ジアミノフェノキシ酢酸、4, 6-

ビス(2-ヒドロキシエチルオキシ)1, 3-ジア

ミノベンゼン、およびこれらの酸付加塩をあげることが

できる。

【0015】本発明の方法においては、染色に適する媒

体中に、

・3-メチルパラ-アミノフェノール、2-メチルパラ

-ア

ミノフェノールおよび2-ヒドロキシメチルパラ

-ア

ミノフェノールならびにこれらの酸付加塩のうちから

選択する少くとも一つの酸化染料前駆体、

・前記の式(I)の2-メチル5-アミノフェノールお

よびこれの塩のうちから選択する少くとも一つのカッ

プ

ラー、

・前記の式(I I)の少くとも一つのメタフェニレンジアミンまたはその塩を含有する少くとも一つの組成物

(A)をヒトのケラチン繊維に適用し、そしてこの組成物(A)に使用の直前に添加される酸化剤、あるいは同時にまたは逐次的に別々に適用される組成物(B)中に存在する酸化剤を用いて酸性またはアルカリ性の環境下で発色する。

【0016】本発明は上記した方法を実施することを可能にする複数の区画部を有する染色用具またはキットもまた目的とする。このような染色キットには少くとも二つの区画部があり、その第1には前記に規定したとき組成物(A)が、そして第2の区画部には染色に適する媒体中に酸化剤を含有する組成物(B)が入っている。

【0017】本発明の他の目的は本記載および後続する実施例を閲読すれば明白となろう。本発明で使用する酸の塩は塩酸塩、硫酸塩、臭化水素酸塩および酒石酸塩のうちから選択する。

【0018】3-メチルパラ-アミノフェノール、2-メチルパラ-アミノフェノールおよび2-ヒドロキシメチルパラ-アミノフェノールまたはこれらの塩が、組成物の全重量に対して0.01~4重量%、望ましくは0.1~2重量%の全濃度で存在する。

【0019】式(I)の2-メチル5-アミノフェノールおよびその塩は全体として、染色組成物の全重量に対して0.01~5重量%、望ましくは0.2~3.5重量%にあたる。

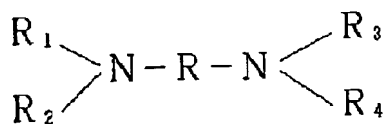
【0020】前記の式(I I)のメタフェニレンジアミンは、染色組成物の全重量に対して0.002~2重量%、望ましくは0.05~1重量%にあたる。

【0021】本発明の場合、酸化染料前駆体とカップラーとの合計は、組成物の全重量に対して0.1~10重量%、望ましくは0.4~5重量%にあたる。

【0022】酸化剤は、過酸化水素、過酸化尿素、アルカリ金属の臭素酸塩、過酸塩例えば過硼素酸塩および過硫酸塩のうちから選択するのが好ましい。過酸化水素が特に好ましい。

【0023】前記したとき染料の組合わせを含む組成物(A)は、3~10.5の範囲のpHを有してよく、pHは、ケラチン繊維の染色に通常使用するアルカリ剤例えばアンモニア、アルカリ炭酸塩、アルカノールアミン例えばモノ-、ジ-およびトリエタノールアミンおよびこれらの誘導体、水酸化ナトリウムまたはカリウム、式

【化5】



(式中、Rはヒドロキシル基またはC₁~C₄アルキル基によって必要なら置換されているプロピレン残基であ

り、R₁、R₂、R₃およびR₄は同時にまたは互いに独立に水素原子、C₁~C₄アルキル基またはC₁~C₄ヒドロキシルアルキル基を表わす)の化合物を用い、あるいは無機または有機酸例えば塩酸、酒石酸、クエン酸および磷酸のような標準的な酸性剤を用いて、所定の値に調整することができる。

【0024】前記に規定した酸化剤を含有する組成物(B)のpHは、組成物(A)との混合の後、ヒトのケラチン繊維上に適用する組成物のpHが望ましくは3~11の間にあるようなものである。pHは、上記したとき技術上周知の酸性剤または必要ならばアルカリ剤によって所望の値に調整される。酸化組成物(B)は過酸化水素溶液からなるのが望ましい。

【0025】本発明の染色方法の好ましい実施態様においては、前記した染色組成物(A)を発色するのに十分な量の酸化溶液と使用時に混合する。得られる混合物を次いでヒトのケラチン繊維に適用しそして5~40分間、望ましくは15~30分間放置し、その後毛髪をリンスし、シャンプー洗浄し、改めてリンスしそして乾燥する。

【0026】本発明においては、特に、酸化染料前駆体によってもたらせる染色に色合いを与えまたはその反射色を豊かにするために、染色組成物は前記に規定した染料に加えて他のカップラーおよび(または)直接染料を含有してよい。

【0027】このカップラーはそれ自体周知であり、互いにメタの位置にあり、必要なら変性されている少くとも二つのヒドロキシおよび(または)アミノ置換基を有し、そして式(I)の2-メチル5-アミノフェノールおよび式(I I)のメタフェニレンジアミンとは異なるベンゼン化合物; α-ナフトール; インドール誘導体; β-ケトン化合物のように活性メチレン基を有するカップラー; ピラゾロン; およびこれらの塩のうちから選択する。直接染料はアゾ染料、アントラキノン染料またはベンゼン系列のニトロ誘導体であるのが好ましい。

【0028】望ましい実施態様において本発明の染色組成物は、陰イオン、陽イオン、非イオン、両性界面活性剤またはこれらの混合物を含有する。これらの界面活性剤のうち、脂肪族アルコールのアルキルベンゼンスルホネート、アルキルナフタレンスルホネート、サルフェートエーテルサルフェートおよびスルホネート、アルキルポリグリコシド、第4級アンモニウム塩、トリメチルセチルアンモニウムの臭化物、セチルピリジニウムの臭化物、必要ならオキシエチレン化脂肪酸のエタノールアミド、それぞれポリオキシエチレン化した酸、アルコールおよびアミン、ポリグリセロール化した脂肪族アルコール、ポリオキシエチレン化またはポリグリセロール化したアルキルフェノール、およびポリオキシエチレン化したアルキルサルフェートをあげることができる。

【0029】これらの界面活性剤は組成物の全重量に対

して0.5~55重量%、望ましくは2~50重量%の割合で本発明の組成物中に存在する。

【0030】本発明の組成物は、水中に十分に可溶でない化合物を溶解化するための有機溶媒も含有してよい。この溶媒のうち、例えばエタノールおよびイソプロパノールのようなC₁~C₄低級アルコール；グリセロール；グリコールまたはグリコールエーテル例えば2-ブトキシエタノール、プロピレングリコール、ジエチレングリコールのモノエチルエーテルおよびモノメチルエーテル、ならびに芳香族アルコール例えばベンジルアルコールまたはフェノキシエタノール、これらに類似する化合物およびそれらの混合物を例としてあげることができる。

【0031】溶媒は組成物の全重量に対して1~40重量%、特に5~30重量%の割合で存在するのが好ましい。

【0032】本発明による組成物中に添加できる増粘剤は、アルギン酸ナトリウム、アラビアガム、必要なら架橋されているアクリル酸ポリマー、セルロース誘導体、キサンタンガムのようなヘテロバイオポリサッカライドのうちから選択することができ、ベントナイトのような無機増粘剤も使用できる。

【0033】これらの増粘剤は、組成物の全重量に対して0.1~5重量%、特に0.2~3重量%の割合で存

- ・ヘンケル社によりEUTANOL Gの名で発売の
チルドデカノール 8.0 g
- ・オレイン酸 20.0 g
- ・ヘンケル社によりSIPON LM35の名で発売のモノ
エタノールアミンのラウリルエーテルサルフェート 3.0 g
- ・エチルアルコール 10.0 g
- ・ベンジルアルコール 10.0 g
- ・セピック社によりSIMULSOL GSの名で発売の
エチレンオキサイド33モルを有するポリオキシエチレ
ン化されたセチルステアリルアルコール 2.4 g
- ・エチレンジアミンテトラ酢酸 0.2 g
- ・反復単位

【化6】

- からなる陽イオンポリマーの有効成分60%の水溶液 有効成分2.2 g
- ・モノエタノールアミン 7.5 g
- ・ヘンケル社によりCOMPERLAN Fの名で発売の
リノール酸のジエタノールアミド 8.0 g
- ・NH₃ 20%のアンモニア水 10.2 g
- ・有効成分35%のメタ重亜硫酸ナトリウム水溶液 有効成分0.46 g
- ・ハイドロキノン 0.15 g
- ・1-フェニル3-メチル5-ピラゾロン 0.2 g

在するのが好ましい。

【0034】本組成物中に存在してよい酸化防止剤は、亜硫酸ナトリウム、チオグリコール酸、チオ乳酸、重亜硫酸ナトリウム、デヒドロアスコルビン酸、ハイドロキノン、2-メチルハイドロキノン、第三ブチルハイドロキノンおよびホモゲンチシン酸のうちから選択する。

【0035】これらの酸化防止剤は、組成物の全重量に対して0.05~1.5重量%の割合で組成物中に存在する。

【0036】本組成物は例えば浸透剤、金属イオン封鎖剤、香料、緩衝剤、分散剤、処理剤、コンディショナー、膜形成剤、保存剤および不透明化剤のような香粧品として許容できる補助剤も含有してよい。

【0037】毛髪に適用する組成物は、液体、クリーム、ゲルの形またはセラチン繊維特にヒトの毛髪の染色を実施するのに適する別な形のような種々の形をとってよい。本組成物は、推進剤の存在でエアロゾル容器内に加圧下で包装されてよくそしてムースを形成できる。

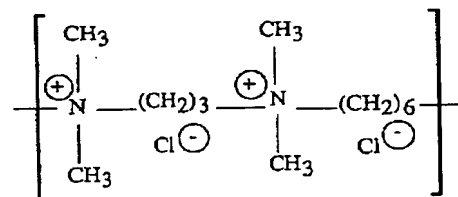
【0038】

【実施例】以下の諸例は限定的な性格をなんらもつことなく本発明を説明する。

【0039】塩基性pHでの染色

例 1

下記の染色組成物を調製する。



11

- ・ 3-メチルp-アミノフェノール
- ・ 2-メチル5-アミノフェノール
- ・ 1-β-ヒドロキシエチルオキシ2, 4-ジアミノベンゼンの二塩酸塩

- ・ 脱ミネラル水

使用時に、この組成物を等重量の、pHが3の20容強度（6重量％）の過酸化水素と混合する。pHが9.7の混合物を得る。この混合物を白髪が90％の自然なままの灰色の毛髪に30分間適用する。リンスし、シャン

- ・ グリセロール2モルでポリグリセロール化したオレインアルコール

- ・ グリセロール4モルでポリグリセロール化されたオレインアルコール（有効成分78％）

- ・ オレイン酸

- ・ アクゾ社によりETHOMEEN 012の名で発売のエチレンオキサイド2モルでオキシエチレン化したオレインアミン

- ・ ジエチルアミノプロピルラウリルアミノスクシナメート、有効成分55％のナトリウム塩

- ・ オレインアルコール

- ・ オレイン酸のジエタノールアミド

- ・ プロピレングリコール

- ・ エチルアルコール

- ・ ジプロピレングリコール

- ・ プロピレングリコールのモノメチルエーテル

- ・ メタ重亜硫酸ナトリウムの有効成分35％の水溶液

- ・ 酢酸アンモニウム

- ・ 酸化防止剤、金属イオン封鎖剤

- ・ 香料、保存剤

- ・ NH₃ 20％のアンモニア水

- ・ 染料

- ・ 脱ミネラル水

使用時に、この混合物を等重量の、pHが3の20容強度（6重量％）の過酸化水素と混合する。下記の表に示すpHを有する混合物を得る。この混合物を白髪が90％の自然なままのまたはパーマをかけた灰色の毛髪に3

12

0.9 g

1.2 g

0.67 g

全体を100 gとする量

プー洗浄し、リンスしそして乾燥した後、毛髪は虹色を帯びた金銅色に染まる。

【0040】例2～4

下記の染色組成物を調製する。

4.0 g

有効成分5.7 g

3.0 g

7.0 g

有効成分3.0 g

5.0 g

12.0 g

3.5 g

7.0 g

0.5 g

9.0 g

有効成分0.46 g

0.8 g

十分な量

十分な量

10.0 g

x g

全体を100 gとする量

0分間適用する。リンスし、シャンプー洗浄し、リンスしそして乾燥した後、毛髪は下表に示す色合いに染まる。

【表1】

例	2	3	4
3-メチルp-アミノフェノール	1.2 g	0.7 g	
2-メチルp-アミノフェノール			0.5 g
2-ヒドロキシメチルp-アミノフェノール			0.5 g
2-メチル5-アミノフェノール	1.5 g	1.0 g	
2-メチル5-N-(β-ヒドロキシエチル)アミノフェノール			0.5 g
1-[2', 4'-ジアミノフェノキシプロピルオキシ] 2, 4-ジアミノベンゼン、四塩酸塩	0.5 g		
1-メトキシ2-アミノ4-β-ヒドロキシエチルアミノベンゼン、二塩酸塩	0.5 g		
2, 4-ジアミノフェノキシ酢酸、ナトリウム塩		0.2 g	
4, 6-ビス-(2-ヒドロキシエチルオキシ) 1, 3-ジアミノベンゼン、二塩酸塩		0.3 g	
1-β-ヒドロキシエチルオキシ 2, 4-ジアミノベンゼン、二塩酸塩			0.1 g
混合物のpH	9.7	9.6	9.8
得られる色合い:			
・白髪が90%の自然のままの毛髪		虹色を帯び、金銅色がかった明るいブロンド色	
・白髪が90%のパーマメントをかけた毛髪	わずかに銅色がかった、濃い虹色を有するブロンド色		金銅色を帯びたブロンド色

【0041】酸性のpHでの染色

40 下記の染色組成物を調製する。

例5および6

- ・グリセロール2モルでポリグリセロール化したオレインアルコール 4.0 g
- ・グリセロール4モルでポリグリセロール化されたオレインアルコール (有効成分78%) 有効成分5.7 g
- ・オレイン酸 3.0 g
- ・アクゾ社によりETHOMEEN 012の名で発売のエチレンオキサイド2モルでオキシエチレン化したオレインアミン 7.0 g
- ・ジエチルアミノプロピル라우リルアミノスクシナメート、

15

- 有効成分 5.5 % のナトリウム塩
- ・オレインアルコール
 - ・オレイン酸のジエタノールアミド
 - ・プロピレングリコール
 - ・エチルアルコール
 - ・ジプロピレングリコール
 - ・プロピレングリコールのモノメチルエーテル
 - ・メタ重亜硫酸ナトリウムの有効成分 3.5 % の水溶液
 - ・酢酸アンモニウム
 - ・酸化防止剤、金属イオン封鎖剤
 - ・香料、保存剤
 - ・モノエタノールアミン
 - ・染料
 - ・脱ミネラル水

16

- 有効成分 3.0 g
- 5.0 g
- 12.0 g
- 3.5 g
- 7.0 g
- 0.5 g
- 9.0 g
- 有効成分 0.46 g
- 0.8 g
- 十分な量
- 十分な量
- 0.8 g
- x g

全体を 100 g とする量

例 5 の染色組成物の混合前の pH は 8.6 である。例 6 の染色組成物の混合前の pH は 8.7 である。使用時にこの混合物を等重量の 20 容強度（6 重量 %）の過酸化水素と混合しそして過酸化水素 100 g あたり 1.7 g のオルトリン酸を用いて pH を 1.4 に調整する。下記の表に示す pH を有する混合物を得る。この混合物を白髪 20

が 90 % の自然なままのまたはパーマをかけた灰色の毛髪に 30 分間適用する。リンスし、シャンプー洗浄し、リンスしそして乾燥した後、毛髪は下表に示す色合いに染まる。

【表 2】

例	5	6
3-メチル p-アミノフェノール	1 g	0.5 g
2-メチル 5-メチルアミノフェノール	0.8 g	
2-メチル 5-エチルアミノフェノール		0.4 g
1-β-ヒドロキシエチルオキシ 2, 4-ジアミノベンゼン、二塩酸塩	0.6 g	
1-(1, 2-ジヒドロキシプロピルオキシ) 2, 4-ジアミノベンゼン、二塩酸塩		0.3 g
混合物の pH	6.7	6.8
得られる色合い：		
・白髪が 90 % の自然のままの毛髪	濃い真珠母色を帯びたベージュブロンド色	真珠母色を帯びた金ベージュ色の明るいブロンド色

フロントページの続き

(51)Int.Cl. ⁶	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
D 0 6 P 3/24		C		

(72)発明者 アレン ラグランジ
フランス国クブヴレ, リュ ドゥ モント
リイ, 5

(72)発明者 ジャン ジャック ヴァンダンボシュ
フランス国スヴラン, アヴニユ ベルリオ
ズ, 37